

令和 3 年度 宇部市 保健事業実績

目次

◎成人保健事業

1	健康教育	1
2	健康相談	1
3	健康診査	1
4	訪問指導（健康増進・介護予防）	8
5	食生活改善地区組織活動事業及び食生活改善推進員育成事業	8
6	自殺対策事業	9

◎母子保健事業

1	親子健康手帳（母子健康手帳）の交付	11
2	妊産婦健康診査	11
3	健康教育	13
4	育児相談、離乳食教室	13
5	発達相談会（子育て相談会）	14
6	乳幼児健康診査	14
7	訪問指導	15
8	こんにちは赤ちゃん事業	16
9	不妊治療費助成事業	16
10	不育治療費助成事業	17
11	母子保健推進員活動事業	17
12	子育て世代包括支援センター U b e ハピ	17
13	生後2週間新生児相談事業	18
14	産後ケア（ショートステイ・デイサービス）	18
15	親子によりそう育児支援事業（養育支援訪問事業）	18
16	子育てパートナー事業	19
17	多胎児育児支援事業	19

◎その他の事業

1	予防接種	20
2	結核検診	24
3	防疫	24
4	健康イベント	25
5	健幸長寿プロジェクト（スマートウエルネスシティ推進事業）	26

◎成人保健事業

1 健康教育

(1) 目的

生活習慣病の予防や健康増進・介護予防等に関する事項について、正しい知識の普及を図る。

(2) 対象 おもに 40 歳以上の者とその家族

(3) 実施回数・参加者数

区 分	実績				
	29 年度	30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
実施回数	470	502	327	279	311
参加者数	13,400	13,287	7,649	4,078	6,087

2 健康相談

(1) 目的

心身の健康に関する個別の相談に応じ、保健師、栄養士等による必要な指導及び助言を行い、家庭における健康管理に資する。

(2) 対象 おもに 40 歳以上の者とその家族

(3) 内容

名称	内容	場所
地区健康相談	身近な場所での一般健康相談	各ふれあいセンター等
常設窓口健康相談	個別健康相談(来所・電話等)	保健センター

(4) 相談者数

区 分	実績				
	29 年度	30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
相談延人数	2,086	4,899	3,442	2,200	1,815

3 健康診査

(1) 目的

健康診査は、がん、脳卒中、心臓病など生活習慣病予防の一環として、これらの疾患の疑いのある者、または、危険因子を持つ者をスクリーニングするとともに、単に医療を要する者の発見だけではなく、健康診査の結果、必要な者に対して栄養や運動、食生活等に関する健康指導、健康管理に関する正しい知識の普及を行うことによって、壮年期からの健康についての知識と自覚の高揚を図ることを目的とする。

(2) 対象者

区分	対象者
胃がん検診、結核・肺がん検診、大腸がん検診	40歳以上で、事業所などで検診を受けられない者
子宮がん検診	20歳以上の女性で、事業所などで検診を受けられない者 ※前年度受診者は除く。
乳がん検診	40歳以上の女性で、事業所などで検診を受けられない者 ※前年度受診者は除く。
前立腺がん検診	50歳以上70歳以下の男性で国民健康保険加入者 ※特定健康診査と同時受診
医療保険未加入者の健康診査	40歳以上で、医療保険未加入の者
肝炎ウイルス検診	40歳以上で、未受診者
骨粗しょう症検診	20歳、25歳、30歳、35歳、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳になる女性。
歯周病検診	20歳、25歳、30歳、35歳、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳になる者。妊婦。

(3) 検査項目

区分	検査内容	
がん検診	胃がん検診	問診、胃部X線検査又は胃内視鏡検査
	結核・肺がん検診	問診、胸部X線検査、必要に応じて喀痰検査
	大腸がん検診	問診、免疫便潜血反応検査
	子宮がん検診	問診、視診、細胞診（頸部・体部）、内診、必要に応じて コルポスコープ検査。希望者に経膈超音波検査
	乳がん検診	問診、乳房X線検査(2方向)
	前立腺がん検診	問診、P S A検査（血液検査）
医療保険未加入者の健康診査	既往歴の調査、自覚症状・他覚症状、身長、体重、腹囲、 B M I、血圧、尿検査、血液検査（脂肪・肝機能・血糖・ 貧血・腎機能）、心電図、推定1日食塩摂取量検査、眼底 検査など ※眼底検査は、医師の判断により追加実施。	
肝炎ウイルス検診	問診、H B s 抗原検査、H C V抗体検査、H C V抗体検査 必要に応じてH C V核酸増幅検査	
骨粗しょう症検診	問診、骨量測定（超音波法等）	
歯周病検診	問診、現在歯及び喪失歯の状況、歯肉の状況（C P I）等	

(4)実施内容（総合集団健診を除く）

区分	方法	実施回数等	委託先
結核・肺がん検診	集団	年間 36 回（25 会場）	(財) 西日本産業衛生会
	個別	R3. 5. 10～R4. 1. 20（60 機関）	宇部市医師会ほか
胃がん検診	集団	年間 30 回（21 会場）	(財) 西日本産業衛生会
	個別	R3. 5. 10～R4. 1. 20（40 機関）	宇部市医師会ほか
大腸がん検診	集団	年間 36 回（25 会場）	(財) 西日本産業衛生会
	個別	R3. 5. 10～R4. 1. 20（72 機関）	宇部市医師会ほか
子宮がん検診	集団	年間 24 回（18 会場）	(財) 西日本産業衛生会
	個別	R3. 5. 10～R4. 1. 20（10 機関）	宇部市医師会ほか
乳がん検診	集団	年間 24 回（18 会場）	(財) 西日本産業衛生会
	個別	R3. 5. 10～R4. 1. 20（13 機関）	宇部市医師会ほか
歯周病検診	個別	R3. 5. 10～R4. 1. 20（妊婦は R4. 2 月末） （76 機関）	宇部歯科医師会ほか
肝炎ウイルス検診	個別	R3. 5. 10～R4. 1. 20（70 機関）	宇部市医師会ほか
医療保険未加入者の健康診査	個別	R3. 6. 17～R3. 9. 30（61 機関）	宇部市医師会ほか

(5)総合集団健診（がん検診＋骨粗しょう症検診＋特定健診）

※がん検診・・・結核・肺、胃、大腸、子宮、乳、前立腺
女性限定の総合集団がん検診（託児あり）を実施

日時(9:00～12:00)	会 場	日時(9:00～12:00)	会 場
6月7日(月)	ときわ湖水ホール	9月26日(日)	厚南市民センター
6月19日(土)	宇部市保健センター (女性限定)	10月16日(土)	宇部市保健センター (女性限定)
6月26日(土)	宇部市保健センター	11月6日(土)	宇部市保健センター
7月17日(土)	宇部市保健センター (女性限定)	11月20日(土)	宇部市保健センター (女性限定)
7月26日(月)	ときわ湖水ホール	11月28日(日)	厚南市民センター
8月21日(土)	宇部市保健センター	12月4日(土)	宇部市保健センター
9月4日(土)	宇部市保健センター	12月18日(土)	宇部市保健センター
9月18日(土)	楠保健センター		

(6) 受診者数

① 肺がん検診

実施方法	実績										
	29年度		30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		
	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率	
集団X線	2,563		2,407		2,263		1,506		1,809		
集団喀痰	45		13		13		9		8		
個別X線	8,972		9,736		9,687		9,030		8,827		
個別喀痰	490		491		462		405		348		
計	X線	11,535	10.9	12,143	11.5	11,950	11.3	10,536	10.0	10,636	10.1
	喀痰	535		504		475		414		356	

② 胃がん検診

実施方法	実績									
	29年度		30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率
集団検診	1,625		1,547		1,465		945		1,186	
医療機関	5,140		5,213		4,896		4,500		4,694	
計	6,765	6.4	6,760	6.4	6,361	6.0	5,445	5.2	5,880	5.6

③ 大腸がん検診

実施方法	実績									
	29年度		30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率
集団検診	2,436		2,278		2,226		1,609		1,854	
医療機関	6,909		7,038		7,153		6,548		6,545	
計	9,345	8.9	9,316	8.8	9,379	8.9	8,157	7.7	8,399	8.0

④ 子宮がん検診

実施方法	実績									
	29年度		30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率
集団検診	906		743		859		469		764	
医療機関	4,674		4,215		4,494		4,340		4,544	
計	5,580	14.2	4,958	14.1	5,353	13.9	4,809	13.7	5,308	13.7

※検診は隔年実施であり、受診率は県実施要領に基づき算出。

(「前年度数値 + 対象年度数値」 - 「対象年度における2年連続受診者」) ÷ 対象者数

※平成26年度から妊婦健康診査における子宮がん検診の件数を加算(国の勧奨)

<子宮がん検診（無料クーポン関係）【再掲】>

実施方法	実績									
	29年度		30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率
集団検診	11		3		9		26		20	
医療機関	289		303		273		277		281	
計	300	16.3	306	17.8	282	15.6	303	17.7	301	17.9

※受診率はクーポン券対象者に対する率として算出。

※平成29年度から40歳を追加（20歳と40歳を対象に実施）

⑤ 乳がん検診

実施方法	実績									
	29年度		30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率
集団検診	988		846		961		536		904	
医療機関	2,859		2,522		2,661		2,484		2,824	
計	3,847	12.3	3,368	12.3	3,622	12.0	3,020	11.4	3,728	11.7

※検診は隔年実施であり、受診率は県実施要領に基づき算出。

（「前年度数値 + 対象年度数値」 - 「対象年度における2年連続受診者」） ÷ 対象者数

<乳がん検診（無料クーポン関係）【再掲】>

実施方法	実績									
	29年度		30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率
集団検診	27		5		18		48		50	
医療機関	423		465		413		431		425	
計	450	22.7	470	22.6	431	20.2	479	22.9	475	23.2

※ 受診率はクーポン券対象者に対する率として算出。

※ 平成29年度から50歳を追加（40歳と50歳を対象に実施）

⑥ 前立腺がん検診

実施方法	実績									
	29年度		30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率
集団検診	100		91		90		47		70	
医療機関	637		654		644		572		393	
計	737	2.1	745	2.2	734	2.2	619	1.9	463	1.4

⑦骨粗しょう症検診

実施方法	実績									
	29年度		30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率
集団検診	228		178		193		94		170	
医療機関	443		417		406		345		315	
計	671	6.1	595	5.3	599	5.3	439	4.0	485	4.6

⑧歯周病検診

種別	方法	実績									
		29年度		30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
		受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率
受診者数	節目	185	0.8	280	1.2	384	1.7	288	1.3	375	1.8
	妊婦	341	27.9	448	40.9	434	39.0	511	45.5	515	50.9
計		526		728		818		799		890	

⑨肝炎ウイルス検診

実施方法	実績				
	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
医療機関	28	33	26	41	31

※山口県緊急肝炎ウイルス検査数は含まず。

⑩医療保険未加入者の健康診査

実施方法	実績				
	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
医療機関	60	55	54	77	75

令和3年度から、受診率の算定方法を変更（平成29年度以降の受診率も変更して掲載）
各検診受診率の分母となる対象者数は、該当年齢の全人口とする。（国・県との比較が可能）

(7) 受診費用

区分	方法	費用		区分	方法	費用	
		74歳以下	75歳以上			74歳以下	75歳以上
結核・肺がん検診 (X線撮影)	集団	400円	300円	乳がん検診 (X線)	集団	1,700円	400円
	個別	900円	300円		個別	1,900円	500円
結核・肺がん検診 (X線撮影+喀痰検査)	集団	1,100円	500円	前立腺がん 検診	集団	1,000円	
	個別	1,600円	500円		個別	1,100円	
胃がん検診 (X線撮影)	集団	1,500円	300円	骨粗しょう症検診	集団	400円	
	個別	2,400円	300円		個別	1,100円	
胃がん検診 (内視鏡撮影)	集団	(実施なし)		歯周病検診	個別	無料	
	個別	3,000円	500円				
大腸がん検診	集団	400円	200円	肝炎ウイルス 検診	個別	800円	300円
	個別	700円	300円				
子宮がん検診 (頸部)	集団	1,000円	200円	健康診査 (保険未加入者)	個別	無料	無料
	個別	1,500円	300円				
子宮がん検診 (頸部・体部)	集団	(実施なし)					
	個別	2,500円	500円				
子宮がん検診 (頸部・超音波)	集団	(実施なし)					
	個別	2,000円	800円				
子宮がん検診 (頸部・体部・ 超音波)	集団	(実施なし)					
	個別	3,000円	1,000円				

(8) 結果の通知

集団検診実施分は、西日本産業衛生会、ヘルスポートクリニック及び市から郵送で通知。医療機関実施分は、医療機関から直接通知。

(9) 事後指導

がん検診受診者のうち、要精密検査者への受診勧奨は、個別検診では直接医療機関から行い、集団検診では文書により実施。また、がん検診要精密検査者のうち、未受診者には検診後3ヵ月以降に勧奨ちらしおよび精密検査受診状況アンケートを送付し再度受診勧奨を実施し、未受診者には再度電話にて受診勧奨した。

4 訪問指導（健康増進・介護予防）

(1) 目的

療養上の保健指導が必要であると認められる者及びその家族等に対して、保健師等が訪問して、その健康に関する問題を総合的に把握し、必要な指導を行い、これらの者の心身機能の低下の防止と健康の保持増進を図ることを目的とする。

(2) 対象

おもに 40 歳以上の者とその家族。

<延べ訪問指導人数>

区 分	実績				
	29 年度	30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
要指導者等	383	427	227	47	42
閉じこもり予防	72	30	65	71	70
介護家族者	15	29	36	11	61
寝たきり者	2	14	14	5	2
認知症の者	46	76	35	105	107
精神障害	144	157	264	408	176
難病	2	7	4	11	0
その他	169	199	382	298	388
特定保健指導	67	52			
計	900	991	1,027	956	846

5 食生活改善地区組織活動事業及び食生活改善推進員育成事業

(1) 目的

健康づくり実践活動として、食生活改善講習会を開催するとともに、推進員がそれぞれの担当地区を巡回し、健康づくりのための各種教材の配布及び地域の実情にあった食生活の指導助言を行う。

(2) 令和 3 年度会員数 87 人

(3) 令和 3 年度地区組織活動実績

区分	回数	活動内容
講習会	66	おやこ食育教室、男性のための料理教室、高齢者料理教室、離乳食教室、地産地消フェアなど
個人活動	5,217	生活習慣病予防

6 自殺対策事業

(1) 目的

心かようまちプラン（いのちをまもる宇部市自殺対策計画）推進に向け、市民一人ひとりが自殺対策の主役となり、地域や関係機関とのつながりを持ち、社会全体で自殺リスクを低下させ、「みんなで気づき 絆でつながり 心かようまち」の実現を目指す。

(2) 内容

令和元年度から、心かようまちプランに基づき、課題解決のための事業を委託して実施。

○自殺対策事業

委託事業者 令和元年度 特定非営利活動法人ふらっとコミュニティ

令和2年度 特定非営利活動法人山口ヘルスプロモーションネットワーク

令和3年度 特定非営利活動法人山口ヘルスプロモーションネットワーク

① ネットワークの強化

関係機関のネットワーク作りや強化を目的とした研修等の実施

区 分	実績				
	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実施回数	3	2	2	2	5
延べ参加者数	146	101	76	138	178

② 人材の育成（ゲートキーパー講座の開催）

ゲートキーパーは、自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応（悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて必要な支援につなげ、見守る）を行う役割を担う。

区 分	実績				
	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実施回数	10	7	10	10	5
参加者数	290	560	491	304	238

※令和元年度以降、市保健師実施分を含む。

※平成23年度から令和3年度までの養成人数 3,279人（累計）

③ メンタルヘルス相談（相談会の開催）

区 分	実績		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実施回数	27	15	19
参加者数	18	12	24

※市保健師実施分は、「2 健康相談」で計上。

④ 住民への普及啓発

啓発チラシや市ウェブサイト等を活用した啓発を実施。

カラーコーディネーターによる色の選び方から自己心理状態に気づく講座を通じて、こころの健康づくりに対する正しい知識の普及や相談窓口の啓発を実施。

○こころの体温計

メンタルチェックシステム「こころの体温計」の活用により、自身や周囲の人の心の変化の気づきを促すとともに、相談窓口の周知を実施。

区 分	実績		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
アクセス件数	25,778	16,095	14,237
うち市内利用者	20,036	12,011	9744

◎母子保健事業

1 親子健康手帳（母子健康手帳）の交付

(1) 目的

母子健康手帳は、妊婦健康診査や乳幼児健康診査、予防接種など、妊娠時及び出産後の母子の健康管理に必要な事項を記載し、健やかに生み育てるための健康管理に資することを目的とする。また、母子健康手帳交付時に、妊婦一般健康診査受診票等必要な書類を同時に交付し、妊娠、出産にかかわる諸制度の説明をするとともに個別に相談を受けている。また、平成 20 年度から、父親の育児参加を促すため、名称を親子健康手帳と改称している。

(2) 交付場所

宇部市子育て世代包括支援センター Ube ハピ

(3) 交付者数

交付場所	実績				
	29 年度	30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
宇部市子育て世代包括支援センター	1, 221	1, 096	1, 112	1, 124	1, 011

2 妊産婦健康診査

(1) 目的

母体の健康状態、胎児の発育において、医療の面、保健指導の面で援助が必要な妊産婦を発見し、妊産婦の健康管理の向上を図る。

(2) 実施方法

種別	実施時期	検診方法
妊 婦 健 康 診 査	14 回	医療機関による 個別健康診査
超 音 波 検 査	1, 4, 8, 11 回目に合わせて実施	
子 宮 頸 がん 検 診	1 回目に合わせて実施	
産婦健康診査	2 回（産後 2 週間、 産後 1 か月）	

(3) 受診者数

区分		実績									
		29年度		30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
		受診者数	受診率(%)	受診者数	受診率(%)	受診者数	受診率(%)	受診者数	受診率(%)	受診者数	受診率(%)
妊婦健診	第1回	1,221	100.0	1,093	99.7	1,103	99.2	1,115	100.0	1,015	100.0
	第2回	1,171	95.9	1,080	98.5	1,074	96.6	1,075	96.7	971	98.8
	第3回	1,146	93.9	1,075	98.1	1,055	94.9	1,103	99.2	962	97.9
	第4回	1,161	95.1	1,104	100.0	1,064	95.7	1,095	98.5	979	99.6
	第5回	1,126	92.2	1,084	98.9	1,033	92.9	1,071	96.3	969	98.6
	第6回	1,111	91.0	1,086	99.1	1,025	92.2	1,046	94.1	992	100.0
	第7回	1,113	91.2	1,084	98.9	999	89.8	1,012	91.0	977	99.4
	第8回	1,172	96.0	1,142	100.0	1,051	94.5	1,059	95.2	1,019	100.0
	第9回	1,107	90.7	1,064	97.1	995	89.5	954	85.8	961	97.8
	第10回	1,125	92.1	1,085	99.0	1,043	93.8	1,026	92.3	983	100.0
	第11回	1,094	89.6	1,075	98.1	1,023	92.0	1,000	89.9	1,006	100.0
	第12回	1,045	85.6	1,010	92.2	967	87.0	954	85.8	938	95.4
	第13回	915	74.9	823	75.1	793	71.3	775	69.7	775	78.8
	第14回	667	54.6	579	52.8	518	46.6	493	44.3	506	51.5
超音波検査	第1回	1,220 (県内受診者)	99.9	1,088 (県内受診者)	99.3	1,098 (県内受診者)	98.7	1,112 (県内受診者)	100.0	1,012 (県内受診者)	100.0
	第2回	1,144 (県内受診者)	93.7	1,099 (県内受診者)	100.0	1,057 (県内受診者)	95.1	1,089 (県内受診者)	97.9	978 (県内受診者)	99.5
	第3回	1,155 (県内受診者)	94.6	1,130 (県内受診者)	100.0	1,042 (県内受診者)	93.7	1,050 (県内受診者)	94.4	1,013 (県内受診者)	100.0
	第4回	1,021 (県内受診者)	83.6	996 (県内受診者)	90.9	943 (県内受診者)	84.8	943 (県内受診者)	84.8	951 (県内受診者)	96.7
子宮頸がん 検診		1,213 (県内受診者)	99.3	1,086 (県内受診者)	99.1	1,095 (県内受診者)	98.5	1,113 (県内受診者)	100.0	1,010 (県内受診者)	100.0
産婦 健診	産後2週間			1,015	83.9	986	88.7	966	86.9	981	99.8
	産後1か月			1,067	87.4	1,053	94.7	1,047	94.2	1,044	100.0

平成21年度から、妊婦一般健康診査の公費負担回数を5→14回、超音波検査を2→4回に変更。また、子宮頸がん検診も第1回の一般健康診査時に同時実施を開始。

平成23年1月1日から、妊婦健診(第1回)の検査項目に、HTLV-1抗体検査を追加。

平成23年4月1日から、妊婦健診(第6,7,8回のいずれか)に合わせて、性器クラミジア検査を追加。平成29年4月1日から、HTLV-1の健診時期を8回にも追加。また、産婦健康診査(2週間・1か月)を開始。

令和3年度から多胎児健康診査(5回)を開始。

3 健康教育

マタニティ♥サロン（妊婦教室）

(1) 目的

妊娠・出産・育児に関する正しい知識を習得し、母性としての身体的・精神的な成長を援助するとともに、妊婦同士の交流を持つことにより、妊産婦の健康管理を図る。

(2) 実施方法及び内容

3回を1コース（3回目は夫婦で参加の両親学級）とし、歯科医師、助産師、保健師、栄養士等による講話や実習を行う。また、妊婦同士の交流の場とし、産後の子育てがイメージできるよう保育士等による育児に関する情報提供、子育て支援拠点の見学を実施。（平成28年度から令和元年度まで）

＊平成26年度～27年度は4回1コース

＊平成28年度～29年度は2回1コース

＊平成30年度～マタニティ♥サロンに変更 3回1コース

＊令和2年度～新型コロナウイルス感染症の影響で、オンライン又は予約制で実施

(3) 参加者数

実施場所		実績				
		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
保健センター	回数	8	12	12	8	8
	参加者数	347	308	326	9	18

4 育児相談、離乳食教室

(1) 目的

育児に関する相談に応じ、個別または集団的に必要な指導・助言を行い、保護者同士の交流の場を設けることにより、不安の解消を図り育児を支援する。離乳食教室を実施し、食育を推進している。

令和2年度からは、新型コロナウイルス感染症の影響で、オンライン又は予約制で実施した。

(2) 参加者数

年度	保健センター 育児相談		地区育児相談		保健センター 離乳食教室		地区離乳食相談		計	
	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数
29年度	6	34	35	300	12	345			53	679
30年度	6	21	36	282	12	323			54	626
令和元年度	6	18	37	231	9	226			52	475
令和2年度	5	4	15	48	9	35	8	103	29	87
令和3年度			31	90	10	40	24	185	65	315

※平成29～30年度は楠保健センター実施分のみ。

※令和2年度からは、地域の子どもが集まる場所での離乳食相談、集団指導を追加。

5 発達相談会（子育て相談会）

(1) 目的

集団生活を経験する幼児期以降に顕在化してくることが多い軽度発達障害に対して、幼稚園や保育園と協力して、保護者の相談に応じ、小学校の就学に向けた支援を行う。

(2) 対象者

幼稚園・保育園の年中児

(3) 参加者数

年度	実績				
	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
参加者数	23	16	17	26	24

平成23年度、5歳児健康診査の開始に伴い、5歳児健康診査の事後指導教室と位置づけるとともに、市民に発達に関する相談会とわかりやすいように、名称を「子育て相談会」から「発達相談会」に改称した。

6 乳幼児健康診査

(1) 目的

乳幼児の疾病・異常の早期発見・早期対応により、必要に応じた医療・療育に結びつける。また、育児支援・健康推進の助言を行い、乳幼児の健康管理の向上を図る。

(2) 実施方法

① 乳児健康診査(1か月児、3か月児、7か月児)

医療機関による個別健診

② 1歳6か月児健康診査

医療機関による個別健診；歯科、計測、小児科診察

必要時、市より電話連絡し、個別に支援

保健センターでの集団健診；視力検査、保健指導（保育、栄養指導）心理相談

医療機関による個別健診；歯科、計測、小児科診察

③ 3歳児健康診査（3歳6か月時受診）

毎月1・4木曜日、第2・3火曜日

保健センターでの集団健診；視力検査、保健指導（保育、栄養指導）心理相談

医療機関による個別健診；歯科、計測、小児科診察

④ 5歳児健康診査

平成23年度から、市単独事業として開始

年中児（5歳児）に対し、幼稚園・保育園をとおして、発達問診票の配布・回収を行う。発達問診票や園での児の様子を考慮し、児の所属する園の関係者や保健師等が、精神発達等に状況について、さらに詳しく保護者等からの聞き取りが必要と判断した場合には、保健師等による訪問等を行うとともに、必要に応じて、小児科医による診察を行う。

(3) 事後指導

総合判定の有所見者には、医療機関、療育機関等への紹介、訪問による保健指導を

行い、1歳6か月児・3歳児健康診査未受診者に対しては、受診勧奨を実施している。

1歳6か月児健康診査においては、子育て支援センターと協力し、2歳児を対象とした親子学級（スキップクラブ）を実施し、遊びを通じて親子関係を豊かにし保護者の育児に対する意識・姿勢を作る援助をするとともに、保護者同士の交流及び子供同士の交流を通じて全体的な発達を促している。

平成23年度より、5歳児健康診査の事後指導として、発達相談会を実施。

(4) 受診者数

区分		実績									
		29年度		30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
		受診者数	受診率(%)	受診者数	受診率(%)	受診者数	受診率(%)	受診者数	受診率(%)	受診者数	受診率(%)
乳児健診	1か月健診	1,186	98.5	1,142	96.8	1,060	98.4	1,058	98.1	1,044	98.3
	3か月健診	1,214	99.9	1,162	98.1	1,091	99.7	1,084	99.4	1,053	95.3
	7か月健診	1,237	99.0	1,118	94.9	1,102	99.5	1,058	97.4	1,082	93.4
1歳6か月児健診 (小児科受診)		1,200	94.5	1,210	98.9	1,073	90.5	1,148	100.0	1,044	95.7
3歳児健診		1,217	94.4	1,162	87.7	1,136	91.0	1,202	100.0	1,031	87.4
5歳児健診		2,030	97.9	1,284	97.4	1,222	97.1	1,264	97.2	1,219	96.7

※25年度から、3歳児健康診査は、集団健診と個別健診（小児科）を実施。

※令和2年度の途中からは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1歳6か月児、3歳児健康診査は歯科健康診査・指導を医療機関で実施。

※5歳児健康診査は、年中時に実施していたが、25年度から幼稚園は春の園医健診に合わせて年長時に実施。

※5歳児健康診査の受診者数は発達問診票の回収者数を計上。

※平成29年度の5歳児健康診査は、実施時期変更の移行期のため、幼稚園は春（年長）、秋（年中）の2回実施。

7 訪問指導

(1) 目的

妊産婦に対しては、妊娠中の健康管理及び母体の回復の確認と産褥指導及び育児不安への援助等、新生児・乳幼児に対しては、身体発育の確認、育児指導及び乳幼児健康診査の事後指導、未受診者指導を行う。

(2) 延べ訪問等指導人数

区分	実績				
	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
妊産婦・新生児	827	583	516	616	566
乳幼児等	2,280	2,124	2,239	2,133	2,476
虐待関係（※）	445	417	379	459	521
計	3,552	3,124	3,134	3,208	3,563

※虐待の疑い含む

(参考) 宇部市の児童虐待の現状(家庭児童相談より)

	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
0～3歳未満	5	3	5	7	4
3歳～学齢前児童	7	6	7	12	12
小学生	10	18	16	13	13
中学生	1	4	4	8	5
高校生・その他	0	0	5	1	1
計	23	31	37	41	35

8 こんにちは赤ちゃん事業

(1) 目的

安心して子育てできるために、生後4か月までの乳児がいる全家庭を訪問し、親子が心身ともに健康で過ごせるように支援する。

(2) 内容

生後4か月までの乳児がいる家庭をあかちゃん訪問員が訪問して、育児情報提供などを行う。

(3) 訪問世帯数

区分	実績				
	29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度
訪問世帯数	1,204	1,144	1,053	1,099	1,063
訪問率(%)	100	100	96.0	99.7	99.8

9 不妊治療費助成事業

(1) 目的

次世代育成支援の一環として、不妊治療を受けた夫婦(所得制限あり)への経済的な負担の軽減を図る。

(2) 内容

一般不妊治療助成として、保険適用の治療費を助成する。

(3) 助成額

年度あたり3万円を限度

(4) 助成件数

区分	実績				
	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
一般不妊治療	177件	172件	176件	163件	143件

10 不育治療費助成事業

(1) 目的

次世代育成支援の一環として、不育治療を受けた夫婦(所得制限あり)への経済的な負担の軽減を図る。

(2) 内容

不育症治療助成として、検査・治療費に対して助成する。

年度あたり 20 万円を限度

(3) 助成件数

区分	実績				
	29 年度	30 年度	令和元年度	2 年度	3 年度
不育治療	1 件	3 件	3 件	23 件	33 件

11 母子保健推進員活動事業

(1) 目的

家庭訪問、健康診査及び育児相談等の援助、地域に密着したサークル活動を通じて、妊産婦及び乳幼児の保健向上を図るため、母子保健推進員制度を実施し有機的な活動を行う。また、地区の保健活動を推進するために必要な技術を習得するため、研修会等を実施し、母子保健推進員を育成する。

(2) 令和 3 年度 会員数 143 人

(3) 令和 3 年度 母子保健推進員活動実績

	件数(回数)
家庭訪問	719 件
子育てサークルの声かけ	880 件
健康診査等の援助	119 人
サークル・サロン活動	70 回

(4) 令和 3 年度 地区組織育成事業実績

	実施回数	参加延人数
運営に関する事項	14 回	265 人
研修に関する事項	3 回	25 人
計	17 回	290 人

オンラインでの研修を中心に行った。

12 子育て世代包括支援センター U b e ハピ

(1) 目的

妊娠期から子育て期にわたる総合相談支援を行うワンストップ拠点として、母子保健コーディネーター(保健師、看護師等の専門職)が、随時妊産婦等からの相談を受け、必要に応じて医療機関(産科・小児科等)や子育て支援機関等の関係機関と連携

し、切れ目のないきめ細かい支援を行う。

(2) 対象者

妊産婦等子育て期の方とその家族

(3) 相談者数

区分	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
相談者数(延)	2,054人	2,667人	2,612人	2,888人	2,899人
相談件数(延)	2,281件	3,033件	3,224件	3,698件	3,702件

13 生後2週間新生児相談事業

(1) 目的

産科退院時から1か月健康診査までのお母さんと赤ちゃんの心と体をサポートし、安心して子育てができるよう、出産直後から医療機関及び行政等が連携し、安心して子育てに取り組むことができる環境を整備する。

(2) 利用者数

区分	29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度
生後2週間新生児相談	807人	810人	736人	789人	795人

14 産後ケア（ショートステイ・デイサービス）

(1) 目的

産科退院直後の母子に対して心身のケア及び育児のサポート等を行うことにより、産後も安心して子育てができる支援体制を確保する。

(2) 利用日数

区分	29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度
ショートステイ	7日(3件)	3日(1件)	13日(5件)	36日(13件)	22日(7件)
デイサービス	2日(1件)	0件	3日(1件)	2日(2件)	1日(1件)

※平成29年度から医療機関で実施している。

※令和3年度のみ集団での産後ケア事業実施 回数12回 延参加人数33人

15 親子によりそう育児支援事業（養育支援訪問事業）

(1) 目的

保護者の養育を支援することが特に必要と認められる児童若しくは保護者に監護させることが不相当であると認められる児童及び出産前において支援を行うことが特に必要と認められる妊婦に対し、その養育が適切に行われるよう、当該居宅において、養育に関する相談、指導、助言そのほか必要な支援を行う。

(2) 利用件数

区分	29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度
養育支援訪問事業(延)	157件	153件	122件	49件	79件

16 子育てパートナー事業

(1) 目的

地域で子育て支援等に従事する方や関心を持つ方に対し、必要な研修を行い、修了者を、子ども・子育て支援の専門職として「うべ子育てパートナー」に認定し、子ども・子育て支援の担い手として、育成・確保を図る。

(2) 養成者数

区分	2年度	3年度
子育てパートナー	30人	33人

※令和2年度から実施

17 多胎児育児支援事業

(1) 目的

多胎妊婦や多胎児を育てている親及びその家族の心身の負担軽減を図るため、交流会や相談支援等を実施する。多胎児の育児経験のあるピアサポーターを活用している。

(2) 利用者数

区分	3年度	
	回数	延人数
交流会	13回	56人
研修会	12回	70人

※令和3年度から実施

◎ その他の事業

1 予防接種

(1) 目的

疾病予防と健康の保持増進を図る。

(2) 実施項目及び実施方法（令和4年3月31日現在）

【定期の予防接種】

種類	接種対象者		実施方法
四種混合 (ジフテリア、百日せき、破傷風、不活化ポリオ)	生後3か月～90か月未満の者		実施医療機関で個別接種 (常時実施)
二種混合 (ジフテリア、破傷風)	11歳・12歳の者		〃
ポリオ	生後3か月～90か月未満の者		〃
BCG	生後1歳未満の者		〃
麻しん風しん混合 (MR)	1期	生後12か月～24か月未満の者	〃
	2期	5歳以上7歳未満の者であって、小学校就学の始期に達する日の一年前の日から当該始期に達する日の前日までの間にある者	〃
日本脳炎	1期	生後6か月～90か月未満の者	〃
		特例措置対象者	
	2期	9歳以上13歳未満の者	〃
		特例措置対象者	
ヒトパピローマウイルス (子宮頸がん予防)	12歳となる日の属する年度の初日から16歳となる日の属する年度の末日までの間にある女性(小学校6年生から高校1年生に相当する年齢である女性)		〃
ヒブ(インフルエンザ菌b型)	生後2か月以上5歳未満の者		〃
小児用肺炎球菌	生後2か月以上5歳未満の者		〃
水痘(水ぼうそう)	生後12か月～36か月未満の者		〃
B型肝炎	生後1歳未満の者		〃 平成28年10月1日から定期接種
ロタ	(1価) 生後6週0日～24週0日 (5価) 生後6週0日～32週0日		〃 令和3年10月1日から定期接種
インフルエンザ	原則として65歳以上の者		実施医療機関で個別接種 (時期を定めて実施)

成人用肺炎球菌	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳以上の者 ・60歳以上65歳未満の者で、心臓、腎臓、もしくは呼吸器の機能に障害を有する者またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有する者として厚生労働省令で定める者 	実施医療機関で個別接種 (常時実施)
成人男性の風しんの抗体検査・予防接種	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性 	〃

※ヒトパピローマウイルス(子宮頸がんワクチン)は、ワクチン接種後に持続的な疼痛がある事例が特異的に見られたことから、積極的勧奨が差し控えとなっていたが、令和2年10月8日の厚生労働省通達により、対象者に個別通知を行うこととした。

※日本脳炎の特例措置対象者は、平成7年4月2日から平成19年4月1日に生まれた者で、20歳未満にある者。

※令和元年度から成人男性の風しんの抗体検査・予防接種を実施。

【任意の予防接種】 ～宇部市予防接種費用助成事業対象の予防接種～

種類	接種対象者	実施方法
おたふくかぜ	1歳以上2歳未満	指定医療機関で個別接種 (常時実施)
ヒトパピローマウイルス(子宮頸がん予防)	令和2年度高校1年生相当年齢の女子 (平成16年4月2日～平成17年4月1日生)	指定医療機関で個別接種 (令和3年9月1日～ 令和4年3月31日)

※ロタウイルスは、平成26年1月6日から接種費用の一部助成をはじめめる。

令和2年10月1日より定期接種の対象となり、令和2年度をもって終了。

※おたふくかぜは、平成28年4月1日から接種費用の一部助成をはじめめる。

※B型肝炎は、平成29年4月1日から平成30年3月31日まで接種費用の一部助成を行った。

※こどものインフルエンザは、令和2年10月1日から令和3年2月27日までの期間に限り、中学生及び高校生を対象に一部助成を行った。

※ヒトパピローマウイルス(子宮頸がん予防)は、令和2年度内にワクチンの定期接種が完了できなかった高校1年相当年齢の女子に対し、令和3年9月1日から令和4年3月31日までの期間に限り、接種費用の助成を行った。

(3)被接種者数

【定期の予防接種】

※同年度内に接種後転出した者も接種者数に含まれるため、接種率が100%を超える場合がある。

実施項目	実績									
	平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和2年度		令和3年度	
	接種者数	接種率	接種者数	接種率	接種者数	接種率	接種者数	接種率	接種者数	接種率
四種混合1期	5,035	104.9	4,820	103.5	4,411	104.4	4,489	106.2	4,222	97.3
二種混合2期	1,077	78.6	1,071	80.6	1,141	82.6	1,191	86.6	977	74.5
ポリオ	64	-	18	-	1	-	0	-	1	-
BCG	1,250	108.7	1,170	101.1	1,067	101.0	1,105	105.5	1,064	98.4
MR (麻しん風しん混合)	1期 1,234	1期 96.8	1期 1,226	1期 106.6	1期 1,165	1期 100.7	1期 1,077	1期 93.6	1期 1,041	1期 96.1
	2期 1,313	2期 94.8	2期 1,225	2期 93.9	2期 1,249	2期 98.1	2期 1,203	2期 97.3	2期 1,171	2期 89.7
麻しん	1期0 2期0	1期- 2期-	1期0 2期0	1期- 2期-	1期0 2期0	1期- 2期-	1期0 2期0	1期- 2期-	1期0 2期0	1期- 2期-
風しん	1期0 2期0	1期- 2期-	1期0 2期0	1期- 2期-	1期0 2期0	1期- 2期-	1期0 2期0	1期- 2期-	1期0 2期0	1期- 2期-
日本脳炎1期 (生後6~90か月未満の者)	5,032		5,268		4,996		4,519		2,904	
日本脳炎2期 (90か月以上20歳未満の者)	1,390		1,381		1,376		1,601		863	
ヒトパピローマ ウイルス(子宮 頸がん予防) (小学校6年生相当~高 校1年生相当の女子)	20	0.2	25	0.2	122	1.2	443	5.1	1,484	15.4
ヒブ(インフル エンザ菌b型)	4,913	103.1	4,680	100.6	4,393	102.3	4,379	103.5	4,181	96.7
小児用肺炎球菌	4,909	103.0	4,671	100.4	4,460	103.8	4,334	102.5	4,165	96.3
水痘(水ぼう そう)	2,377	91.2	2,378	98.5	2,279	104.6	2,189	100.3	2037	94.0
B型肝炎	3,651	104.2	3,446	99.0	3,247	100.8	3,175	98.4	3,143	96.9
ロタ							1,133	59.8	2,593	80.0
インフルエンザ	28,276	51.3	29,484	53.0	30,748	55.6	37,006	68.2	32,857	60.4
成人用肺炎球菌	6,420	50.9	5,830	47.7	2,278	18.6	2,314	20.6	1,242	18.6
成人男性 の風しん	抗体検査 予防接種				2,448 635		2,751 729		572 151	

【任意の予防接種】

実施項目		実績				
		平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	令和 2 年度	令和 3 年度
		接種者数	接種者数	接種者数	接種者数	接種者数
ロタウイルス	1 価	810	811	956	472	
	5 価	1,995	1,751	1,539	1,038	
こどものインフルエンザ					4,233	
おたふくかぜ		1,143	1,087	1,073	1,050	935
B型肝炎		1,840				
ヒトパピローマウイルス（子宮頸がん予防） （令和 2 年度に 高校 1 年生相当 年齢の女子）						317

【日本脳炎について】

- ・平成 17 年度から平成 21 年度にかけての接種の積極的勧奨の差し控えにより、日本脳炎の予防接種を受ける機会を逸した者（平成 7 年 4 月 2 日生まれから平成 19 年 4 月 1 日までの間に生まれた者）に対する日本脳炎の定期予防接種の対象者は、「4 歳以上 20 歳未満の者」となった。
- ・平成 17 年の積極的な勧奨の差し控えにより接種機会を逃した者への接種機会確保のため平成 23 年 5 月 20 日から、接種対象者を 1 期は生後 6 月～20 歳未満の者、2 期は 9 歳以上 20 歳未満のものとなった（1・2 期いずれも平成 7 年 4 月 1 日生ままでの者）。

【MR（麻しん風しん混合）について】

- ・麻しん及び風しんの単独ワクチンは、麻しん又は風しんに罹患した人が対象となるため、対象者が把握できない。（接種率不明）

2 結核検診

(1) 目的

結核患者の早期発見のため、65歳以上を対象として、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき実施している。

(2) 受診者数

29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
9,105	9,712	9,507	8,520	8,413

3 防疫

目的

感染症対策については、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の平成11年4月1日施行に伴い、山口県の指示に従い、患者家屋の消毒及び水害時の消毒を実施する。

4 健康イベント

(1)医療フォーラム

	開催日時	開催場所	内容	参加者数
第18回	平成19年10月28日(日)	宇部市シルバーふれあいセンター	腰痛	300人
第19回	平成20年3月28日(日)	宇部市シルバーふれあいセンター	認知症	550人
第20回	平成20年10月26日(日)	宇部市シルバーふれあいセンター	在宅医療・在宅看護	300人
第21回	平成21年3月15日(日)	渡辺翁記念会館	がん予防	1,200人
第22回	平成21年11月29日(日)	宇部市シルバーふれあいセンター	中高年のこころの病気	300人
第23回	平成22年3月14日(日)	宇部市シルバーふれあいセンター	運動で予防	320人
第24回	平成22年10月17日(日)	宇部市シルバーふれあいセンター	予防接種とブックスタート	250人
第25回	平成23年3月13日(日)	宇部市シルバーふれあいセンター	中高年の目の病気	400人
第26回	平成23年10月23日(日)	宇部市シルバーふれあいセンター	知っておきたい女性の病気	180人
第27回	平成24年2月26日(日)	渡辺翁記念会館	笑顔の処方箋	800人
第28回	平成24年11月18日(日)	宇部市シルバーふれあいセンター	生活習慣病	250人
第29回	平成25年2月3日(日)	宇部市シルバーふれあいセンター	アレルギーの話	200人
第30回	平成25年10月20日(日)	宇部市シルバーふれあいセンター	終末期医療	300人
第31回	平成26年2月23日(日)	宇部市シルバーふれあいセンター	腰痛、膝痛の話	400人
第32回	平成26年10月19日(日)	宇部市シルバーふれあいセンター	がんの早期診断	200人
第33回	平成27年2月15日(日)	宇部市シルバーふれあいセンター	睡眠の話	300人
第34回	平成27年11月8日(日)	宇部市シルバーふれあいセンター	糖尿病の新しい治療薬	200人
第35回	平成28年3月13日(日)	宇部市西部体育館	運動で長生き	200人
第36回	平成28年10月30日(日)	宇部市シルバーふれあいセンター	元気な肺で長生き	200人
第37回	平成29年2月26日(日)	宇部市シルバーふれあいセンター	慢性関節リウマチ	300人
第38回	平成29年10月29日(日)	宇部市多世代ふれあいセンター	大腸がん	250人
第39回	平成30年2月18日(日)	宇部市多世代ふれあいセンター	がんの早期診断	350人
第40回	平成30年10月21日(日)	パルセンター宇部	ウォーキングとストレッチ	70人
第41回	平成31年2月17日(日)	宇部市多世代ふれあいセンター	おなかのガンを予防する	300人
第42回	令和元年10月27日(日)	宇部市多世代ふれあいセンター	高血圧、動脈硬化	200人
第43回	令和2年2月16日(日)	宇部市多世代ふれあいセンター	在宅医療や介護	200人

*令和2年度、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催中止。

《平成26年度山口県医師会勤務医部会 市民公開講座》

	平成27年3月15日(日)	宇部市シルバーふれあいセンター	宇部市の医療連携	250人
--	---------------	-----------------	----------	------

《宇部市医師会創立・宇部市制施行100周年記念講演会》

	令和4年2月20日(日)	渡辺翁記念会館	iPS細胞が拓く新しい医学	500人
--	--------------	---------	---------------	------

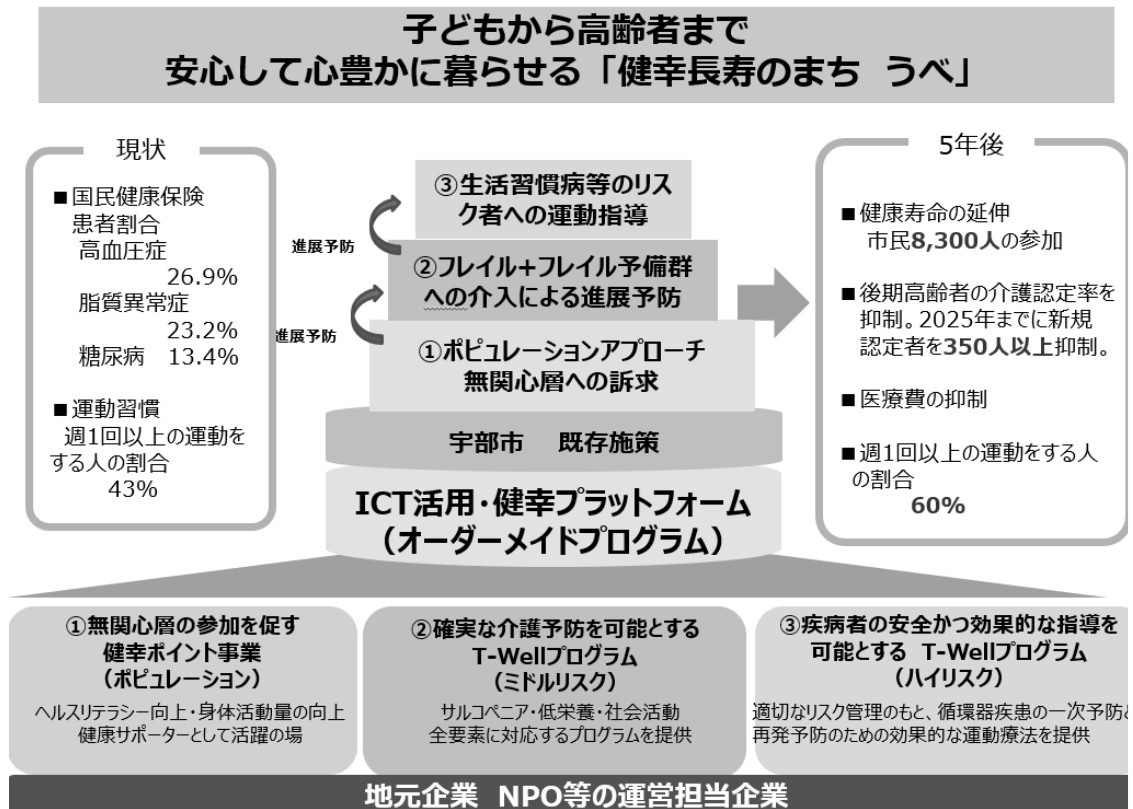
5 健幸長寿プロジェクト（スマートウェルネスシティ※推進事業）

健康づくりの成果の見える化、エビデンスのある健康づくりにより、市民が生涯にわたり安心して心豊かに暮らせるスマートウェルネスシティを目指す。

※スマートウェルネスシティ（SWC）

少子高齢化・人口減少にあっても、地域住民が「健康かつ生きがいを持ち、安心して豊かな生活を送れること」＝「ウェルネス（健幸）」が必要。

この「ウェルネス（健幸）」をまちづくりの中核に位置づけ、市民が健康で元気に幸せに暮らせることを目指す新しいまちづくりの形。



※T-Well とは、株式会社タニタヘルスリンクが提供する、参加者が事前に受ける普段の身体活動量や健康状態を評価する体力テストをもとに実施する、個人の目的にあった最適な個別運動プログラム。

(1) はつらつ健幸ポイント（ポピュレーション）

○参加者数（参加年度別・男女別） (人)

年度\男女	男	女	計
令和元年度	392	735	1,127
令和2年度	571	1,000	1,571
令和3年度	376	892	1,268
計	1,339	2,627	3,966

○参加者数（年代別・男女別） (人)

年代\男女	男	女	計
20 歳代	52	91	143
30 歳代	88	188	276
40 歳代	203	388	591
50 歳代	205	474	679
60 歳代	332	626	958
70 歳代	363	705	1,068
80 歳代	96	153	249
90 歳代	0	2	2
計	1,339	2,627	3,966

(2) あなたにぴったりの個別運動プログラム

○参加者数：96人（令和元年度から累計246人）

1) 運動で体力年齢若返りたい人コース（ミドルリスク）

○実施場所：7か所

ユーピーアールスタジアム（宇部市体育協会）、フィットネスクラブハバック（HBACC）、カーブス、Goppoええぞなクラブ、よりあい処 西ヶ丘、ミネルバ宇部、宇部市スポーツコミッション

○実施期間・時間

令和3年4月～令和4年3月

実施場所ごと週1回、実施日時設定 約90分/回

（カーブスは30分/回（回数制限なし））

○対象者：宇部市民または宇部市在勤の40歳以上の方、医師からの運動制限がない人

2) 病気があっても運動したい人コース（ハイリスク）

○実施場所：2箇所

宇部西リハビリテーション病院（トレーニングセンター FIT）、保健センター

○実施期間・時間

令和3年4月～令和4年3月

※令和3年度から新規参加者募集休止。

※新型コロナウイルス感染症の影響で令和4年2月から個別運動プログラムを中止（宇部西リハビリテーション病院のみ）

月～金 16:00～17:30 約90分/回

○対象者：宇部市民または宇部市在勤の40歳以上で、高血圧・糖尿病・脂質異常症等の生活習慣病を治療中の人

(3) 健幸アンバサダーの養成

身近で大切な人の「心に届く」健康情報を口コミで拡散する伝道師（インフルエン

サー) である健幸アンバサダーを養成。健幸アンバサダーは、健康づくり無関心層を含めた市民の健康意識の向上のため、健康情報を伝達する。はつらつ健幸ポイント新規参加者募集など市の行事の情報も拡散。

	講座開催日	開催場所	認定者数
第1回	令和元年7月5日	宇部市文化会館 2階研修室	235人
第2回 (カーブス共催)	令和2年1月30日	宇部市総合福祉会館 4階 大ホール	169人
第3回	令和2年11月19日・ 11月20日	宇部市総合福祉会館 4階 大ホール	78人
第4回	令和3年7月5日 7月6日	宇部市ときわ湖水ホール 大展示ホール	89人
計			571人

*第3回・第4回は、新型コロナウイルス感染症の影響で、講師の講演をオンライン中継により実施。

(4) 健康運動プログラム認証事業

○ 目的・内容

市内のスポーツ・健康関連の事業者や団体等が提供する健康運動プログラムを効果や安全面等から審査・認証し、認証したプログラムを市が広報し、市民に利用を促すことにより、健康に配慮したまちづくりを推進するとともに、健康ビジネスの創出を図る。

○ 対象

市内のスポーツ・健康関連の事業者や団体等

○ 認証プログラム数

3件(令和4年3月末現在)

(5) ぶちいいね!ヘルシーメニュー認証事業

○ 目的・内容

平成27年10月から事業実施。健康に配慮されたメニューや取り組みを認証するとともに、それを提供する市内の飲食店等を登録し、市ホームページ等を通じて市民に広報することにより、外食時等の市民の健康づくりをサポートする。

さらに、平成28年11月からは、ヘルシーメニューの認証基準に加えて、宇部産の食材を100%使用したメニューを「ヘルシーメニュー・ゴールド」として認証することとした。

平成30年度は、基準を改定。市民にわかりやすいよう部門別にし、野菜や減塩、エネルギー控えの部門別で認証できるようにした。

○ 対象

市内で営業を行い、ヘルシーメニューを提供する飲食店、仕出し弁当店、スーパーマーケット、宿泊施設等

○ 認証メニュー数

平成 29 年度：5 店舗 10 メニュー

平成 30 年度：4 店舗 12 メニュー

令和元年度：2 店舗 2 メニュー

令和 2 年度：4 店舗 9 メニュー

令和 3 年度：4 店舗 5 メニュー